

会期中のイベント

「透明な弁」*Invisible valve*

泉太郎によるギャラリーツアーと特別イベントを開催します。2月1日(土) 17:00-19:00(予定)
参加費 | 500円 *詳細が決まり次第、ウェブサイトに掲載します。

「まちの社交場、《NUCO》オープンしています」

港まちを舞台にしたアートと音楽のフェスティバル「アッセンブリッジ・ナゴヤ」のプロジェクトとして、人びとが集う「まちの社交場」《NUCO》がオープン。アーティストユニット・L PACK.のプロジェクトとして、空き家に手を入れ再生し、カフェを中心にさまざまな活動を継続的に展開しています。

泉太郎「とんぼ」の会期中、本展デザインを担当したフクナガコウジによる、本展デザインにまつわるzineをご覧ください。

場所 | NUCO(名古屋市港区名港1-18-4)

オープン日 | 木曜・金曜・土曜(12:00-18:00) *詳細はInstagram(@uco.nagoya)をご確認ください。

プロフィール

泉 太郎 / Taro Izumi

アーティスト

1976年奈良県生まれ、東京都在住。

映像やパフォーマンス、ドローイングやテキストなど、幅広い方法で作品を発表している。展覧会の度に開催場所の素地を見直し、チーム作りからリスタートするなど、開催地や展示空間を耕すような方法で独自の表現を生み出し、世界各地の展覧会に参加している。近年の主な個展に「スロースターター バイ セルフガイダンス」(名古屋芸術大Art&DesignCenter、愛知、2019年)「突然の子供」(金沢21世紀美術館、石川、2017年)、「Pan」(パレ・ド・トーキョー、パリ、2017年)、グループ展に「Japanorama – A new vision on art since 1970」(Centre Pompidou-Metz、フランス・メッス、2017年)、など。

taroizumi.com

《シロサイ》撮影協力 | 上野英里、小林優作、齋藤伊織、仙波瑞姫、高橋 凜、高松宗生、長友洋之、廣瀬雅枝、森田 健

Eri Ueno, Yusaku Kobayashi, Iori Saito, Mizuki Semba, Rin Takahashi, Muneo Takamatsu,
Hiroyuki Nagatomo, Masae Hirose, Ken Morita

《使用済み扉/立て掛け画板/磨かれた錠剤》撮影協力 | 井藤叶多、宇佐美日苗、小川 愛、倉田ゆきの、小島千尋、中根 惇、服部真歩、
水橋サスケ、三宅海月、山本千愛、了徳寺佳祐

Kanata Ito, Hinae Usami, Ai Ogawa, Yukino Kurata, Chihiro Kojima,
Jun Nakane, Maho Hattori, Sasuke Mizuhashi, Miduki Miyake,
Chiaki Yamamoto, Keisuke Ryotokuji

《ニュースペーパー》撮影協力 | 松本崇宏 Takahiro Matsumoto

《使用済み扉/立て掛け画板/磨かれた錠剤》《ニュースペーパー》映像撮影・編集、《シロサイ》映像編集 | フラットリバー Flat River

《シロサイ》パネル写真撮影 | 城戸 保 Tamotsu Kido

《シロサイ》パネル制作・全体制作アシスタント | 浅沼香織、木下雄二、丸山のどか

Kaori Asanuma, Yuji Kinoshita, Nodoka Maruyama

《使用済み扉/立て掛け画板/磨かれた錠剤》パネル内映像編集 | 岩田隼之介、小川 愛 Shunnosuke Iwata, Ai Ogawa

《100年待っていて下さい》システム制作 | 小柴一浩、田部井勝彦 Kazuhiro Koshiba, Katsuhiko Tabei

《ハンモック(ピーナッツコートの家)》ハンモック制作 | 大津芳美 Yoshimi Otsu

機材協力 | 小濱史雄、八嶋有司、宮田明日鹿、守本奈央、山城大督

Fumio Kohama, Yushi Yashima, Asuka Miyata, Nao Morimoto, Daisuke Yamashiro

技術協力 | 宮路雅行 Masayuki Miyaji

施工 | ミラクルファクトリー(青木一将、小柴一浩、児玉佑司)

Miracle Factory (Kazumasa Aoki, Kazuhiro Koshiba, Yuji Kodama)

デザイン | フクナガコウジ Kohji Fukunaga

MAT, Nagoya | 青田真也、吉田有里 Shinya Aota, Yuri Yoshida

MAT, Nagoyaアシスタント | 山口麻加 Asaka Yamaguchi

MAT Exhibition vol.8

泉 太郎

とんぼ

Taro Izumi TOMBO

2020.1.25 Sat. – 3.14 Sat.

Minatomachi POTLUCK BUILDING 3Fでは、泉太郎の個展「とんぼ」を開催します。

泉太郎は、映像、インスタレーション、ドローイング、テキスト、絵画、立体などのさまざまな手法やメディアを用いた作品群で、国内外で精力的に活動・発表するアーティストです。

2019年秋に名古屋芸術大学内のギャラリーで行われた個展「スロースターター バイ セルフガイダンス」の続編となる本展では「芸術大学」という環境から、日常の行為が錯綜し変化し続ける港まちに場所を移します。表と裏、存在と不在、自由と不自由、待機と稼働などの対極にある構造を巧みに操り、二項対立を脱構築するように制作された新作インスタレーションを発表します。

一見、無意味で不条理な表現は、対立によって「わかりやすさ」や「分断」を生み出す

現代の社会や私たちの思考への問いかけであり、探求でもあります。

また会期中にはイベントも開催し、本展を読み解き、思考する場をひらきます。

会 場 | Minatomachi POTLUCK BUILDING 3F:Exhibition Space

企 画 | Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]

主 催 | 港まちづくり協議会

協 力 | アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会、Take Ninagawa、名古屋芸術大学



港まちづくり協議会
JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN

Minatomachi
POTLUCK
BUILDING

www.mat-nagoya.jp

8.lo v noitidihxƎ TAM

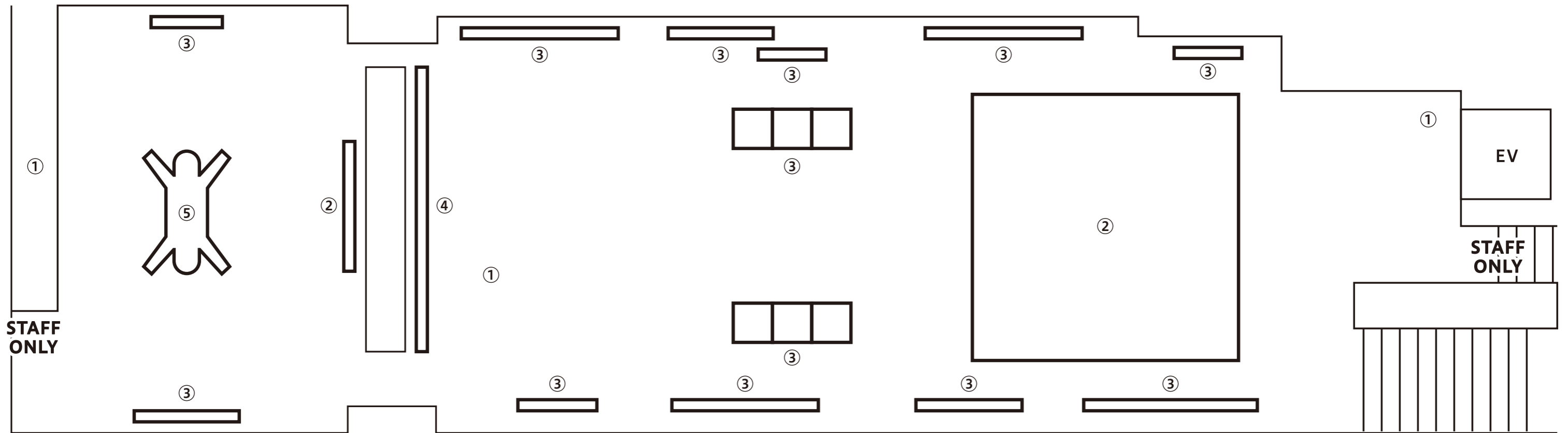
泉 太 浪

3 1 4

Taro Izumi TOMBO

2020.1.22 Sat - 3.14 Sat

- ① 《100年待っていて下さい》 2020
- ② 《シロサイ》 2020
- ③ 《使用済み扉/立て掛け画板/磨かれた錠剤》 2020
- ④ 《ニューズペーパー》 2020
- ⑤ 《ハンモック(ピーナッツコートの家)》 2020
- ⑥ 《ブラックオニキス》 2020



*会場内の作品にはお手を触れないでください。
*床面または、宙吊りに設置している作品やモニターなどに注意し、
足元、頭上にお気をつけてご鑑賞ください。